

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 4年 2月22日更新

事務事業名	電算システム運用事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	1 自治の健康	所属部	市長公室	課長名	松田 勝
	施策	2 行政改革の推進	所属課	企画課	担当者名	右田 裕治
	施策の柱	6 情報化の推進	所属班	デジタル化推進班	(内線)	1262
予算科目	会計一般	款 2 項 1 目 16 事業連番 11451 根拠法令	合志市電子計算組織の管理運営に関する規則			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 21 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市ネットワーク「基幹系(住民記録、税、福祉情報等)、情報系(メール等)、インターネット」の安定した運用を行う。基幹系システムについては、経費削減等を目的としたASP事業(事業者が設置・管理するサーバに7対し、事業者から提供される各種システムを利用するもの)にて平成22年度より運用している。 ・機器、システムの保守・賃貸借契約の締結 ・職員からのトラブル、問い合わせ対応 ・簡易プログラム等の作成【有無の確認】 ・法改正等によるシステム導入、システム改修の手続き ・機器、システムの定期的な更新手続き ・電算出力帳票の管理、発注 ・各種消耗品(プリンタ等)の管理
【業務の流れ】	①基幹業務については民間業者と長期の利用契約締結。 ②民間業者にシステム保守を委託し、運用管理を行う。 ③情報企画班の職員により、業務処理(システムの使用方法や帳票出力処理など)を行う。 ④基幹システムに異常がないかの確認・点検を行う。 ⑤簡易プログラムの作成等により、各種資料を作成する。 ⑥出力帳票の発注・管理、トナーなどの消耗品の管理を行う。
【主な予算費目】	職員手当等(時間外勤務手当、休日勤務手当)、需用費(消耗品費、修繕料、印刷製本費)、役員費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	令和2年度国のセキュリティポリシーの改訂、自治体デジタルトランスフォーメーション推進計画の策定により、三層分離やクラウド化、総合行政システムの運用など本市ネットワークの構成を大きく変えるものとなる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
情報系及び基幹系システムの業務処理支援、各種帳票の作成・情報系及び基幹系に民間業者のシステムエンジニア(SE)に業務処理支援を委託した。また、消耗品等の在庫管理、帳票の発注・管理を行った。	・情報系及び基幹系に民間業者にシステム保守を委託 ・情報系及び基幹系システムの業務処理支援、各種帳票の作成・情報系及び基幹系に民間業者のシステムエンジニア(SE)に業務処理支援を委託する。 ・消耗品等の在庫管理、帳票の発注・管理を行う。 ・市内ネットワークのセキュリティ強化を図る。 ・ASP管理端末機器更新を行う。 ・圧着機の機器更新を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア. 基幹系・情報系システムの保守委託業務数	件
イ. 端末の稼働台数	台
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
ア. 基幹系システム・情報系システム	イ. 端末
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
機器及びシステムが常時、障害なく利用できる	ア. ネットワーク・機器・システムトラブル件数
	イ. 不具合・トラブル対応率
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠	
電算機器・電算システムを安全かつ効率的に利用できているか把握できる。不具合・トラブルが発生した場合、適正に対応することがシステム運用上重要になることから、本成果指標を設定した。また、目標値については、トラブル自体が発生すべきではないことから、0件としている。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	30年度	31年度	2年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア. 件	83	83	76	76	76	76	76	76
	イ. 台	503	564	427	564	427	427	427	427
② 対象指標	ア. 件	83	83	76	76	76	78	78	78
	イ. 台	503	564	431	564	431	431	431	431
③ 成果指標	ア. 件	5	8	0	2	0	0	0	0
	イ. %	100	100	100	100	100	100	100	0
投資入費量	国庫支出金	千円	283	3,101	4,121	5,898	1,818		
	都道府県支出金	千円		494		815			
	地方債	千円							
	その他	千円					12,780		
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	169,846	176,639	185,102	177,607	186,779	278,337	189,000
	(A) 事業費計	千円	170,129	180,234	189,223	184,320	188,597	291,117	189,000
	(A)のうち指定経費	千円	1,329	1,074	1,138	982	1,164	1,200	1,200
	(A)のうち時間外・特勤	千円	1,329	1,074	1,138	982	1,164	1,200	0
	人件費	人	5	5	4	4	3	6	6
延べ業務時間	時間	5,850	3,670	2,300	2,973	2,300	2,300	2,300	
(B) 人件費計	千円	23,060	14,544	9,163	11,722	9,163	9,163	9,163	
トータルコスト(A)+(B)	千円	193,189	194,778	198,386	196,042	197,760	300,280	198,163	

事務事業名	電算システム運用事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	------------	-----	------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 不具合・トラブルは発生したが、早期復旧や原因の特定、リスク拡散の回避など、危機対応を適正に実施出来た。
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 システム運用上最重要となっていることから、継続して達成しなければならない。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 機器類を説明書や注意事項に従い、正しく丁寧に扱うことで故障・トラブルを減らすことができる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 機器の取扱いや印刷の無駄をなくす等の職員意識で帳票・電算消耗品の発注数を減らすことができるが、機器やシステムについては安定稼働とセキュリティの確保、専門技術の必要性など含め、これらの保守は必要である。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 システムやサーバー等の機器保守業務については、知識や経験に基づく専門性が要求されるため業者に委託を行っている。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全ての業務、住民サービスに支障をきたさないようにシステムの維持管理を行うので、公平・公正である。
	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 システムを適正に運用し、滞りのない住民サービスを提供することは市の責務である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

平成28年度及び29年度において機器更改、グループウェア更新を実施した。30年度では機器の故障や不具合は減少したが、31年度は未更改のカラープリンターについて不具合が増えてきている。なお、修理費用の削減については、引き続き職員に機器取扱いに関する周知を行う。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						